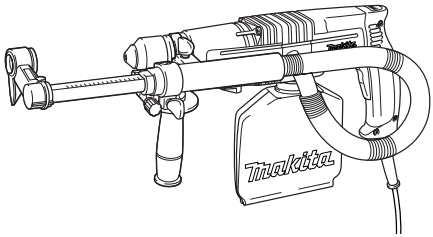
ヒューマンハードウェアのマキタ
人の暮らしとすまいのために……

取扱説明書

吸じんハンマドリル

24mmモデル **HR2430**
(無段変速・正逆転両用)



二重絶縁
このマークは、電気的に安全な二重絶縁製品だけに表示されている安全マークで、接地〔アース〕しなくても感電の心配がなく安心してご使用いただけます。

このたびは**マキタ吸じんハンマドリル**をお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。

ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本機の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただいて、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願い致します。
なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

主要機能

主要機能＼モデル	HR2430
電動機	直巻整流子電動機
電圧	単相100V
電流	7.5A
周波数	50-60Hz
消費電力	710W
最大穿孔能力	コンクリート　24mm
	鉄工（アダプター使用）13mm
	木工（アダプター使用）32mm
打撃回数	0～4,900min^{-1}(回/分)
回転数	0～1,050min^{-1}(回転/分)
機体寸法	長さ416mm×幅70mm×高さ197mm
質量	2.6kg
吸じん機能	最大穴あけ深さ　100mm(0～100mm調整可能)
	使用可能最大キリ径　24mm
	使用可能最大キリ長さ　270mm
	ダストバッグ容量　0.4L

・改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

注意文の ⚠警告 ・ ⚠注意 ・ 注 の意味について

ご使用上の注意事項は **⚠警告** ・**⚠注意**・ **注** に区分していますが、それぞれ次の意味を表わします。

⚠警告：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、**⚠注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注：製品および付属品の取扱い等に関する重要なご注意。

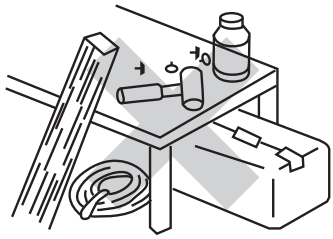
安全上のご注意

●火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
●ご使用前に、この「安全上のご注意」をすべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
●お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

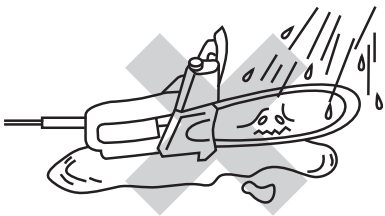
⚠警告

1.ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。

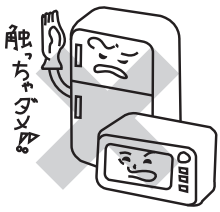
2.作業場は、いつもきれいに保ってください。
・ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。



3.作業場の周囲状況も考慮してください。
・電動工具は、雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
・作業場は十分に明るくしてください。
・可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。



4.感電に注意してください。
・電動工具を使用中、身体を、アースされているものに接触させないようにしてください。
（例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠）



⚠警告

5.子供を近づけないでください。

・作業者以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
・作業者以外、作業場へ近づけないでください。

6.使用しない場合は、きちんと保管してください。

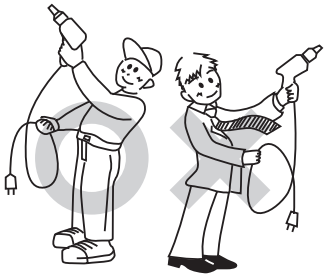
・乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または錠のかかる所に保管してください。

7.無理して使用しないでください。

・安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。

8.作業に合った電動工具を使用してください。

・小形の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
・指定された用途以外に使用しないでください。



9.きちんとした服装で作業してください。

・だぶだぶの衣服やネックレス等の装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがありますので着用しないでください。
・屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
・長い髪は、帽子やヘアカバー等で覆ってください。

10.保護めがねを使用してください。

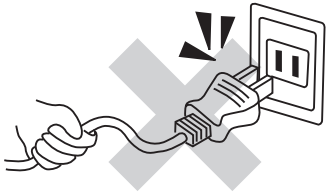
・作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。

11.防音保護具を着用してください。

・騒音の大きい作業では、耳栓、イヤマフなどの防音保護具を着用してください。

12.コードを乱暴に扱わないでください。

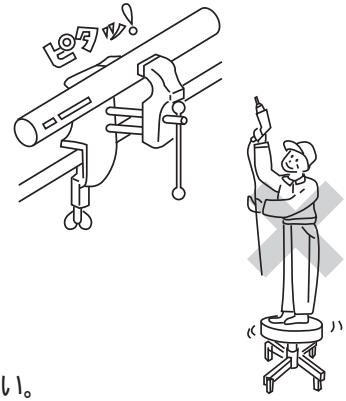
・コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
・コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。



⚠警告

13.加工する物をしっかりと固定してください。

・加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。



14.無理な姿勢で作業しないでください。

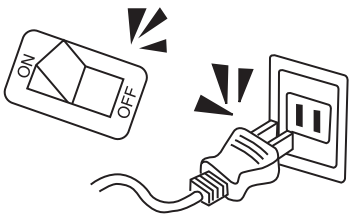
・常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。

15.電動工具は、注意深く手入れをしてください。

・安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
・注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
・コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店または弊社営業所に修理を依頼してください。
・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
・握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。

16.次の場合は、電動工具のスイッチを切りプラグを電源から抜いてください。

・使用しない、または、修理する場合。
・刃物、といし、ビット等の付属品を交換する場合。
・その他危険が予想される場合。



17.調節キーやレンチ等は、必ず取りはずしてください。

・電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチ等の工具類が取りはずしてあることを確認してください。

18.不意な始動は避けてください。

・電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
・プラグを電源に差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。

19.屋外使用に合った延長コードを使用してください。

・屋外で使用する場合、キャブタイヤコードまたは、キャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

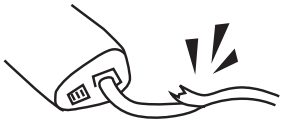
⚠警告

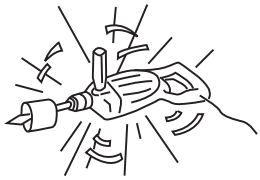
20.油断しないで十分注意して作業を行なってください。

・電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
・常識を働かせてください。
・疲れている場合は、使用しないでください。

21.損傷した部品がないか点検してください。

・使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
・可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。





・損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店または弊社営業所に修理を依頼してください。スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店または弊社営業所で修理を行なってください。
・スイッチで始動および停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。

22.指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

・本取扱説明書および弊社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

23.電動工具の修理は、専門店に依頼してください。

・本製品は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。
・修理は、必ずお買い求めの販売店または弊社営業所にお申し付けください。
・修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

ハンマドリル安全上のご注意

●先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、ハンマドリルとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠警告

1.使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
・表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。

2.作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。
・埋設物があると工具が触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。

3.使用中は、振り回されないようにサイドハンドルを付け本体を両手で確実に保持してください。
・確実に保持していないと、けがの原因になります。

4.使用中は、ビットなどの工具類や回転部、切粉などの排出物に手や顔などを近づけないでください。
・けがの原因になります

5.使用中、機械の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店、または弊社営業所に点検・修理を依頼してください。
・そのまま使用していると、けがの原因になります。

6.誤って落としたり、ぶつけたときは、ビットなどの工具類や機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
・破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

7.石綿は人体に有害です。このような成分を含んだ材料を加工するときは、防じん対策をしてください。

⚠注意

1.工具類（ビットなど）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
・確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。
2.使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。
・回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。
3.作業時はヘルメット、安全靴を着用してください。
4.穴あけ直後の工具類や切屑は大変熱くなっていますので触れないでください。
・やけどの原因になります。
5.高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。また、コードを引っかけたりしないでください。
・材料や機体などを落としたときなど、事故の原因になります。
6.回転させたまま、台や床などに放置しないでください。
・けがの原因になります。
7.使用前に必ずネジ類にゆるみがないか点検してください。
・故障や事故の原因になります。

注

1.ハンマドリル専用の純正工具をご使用ください。

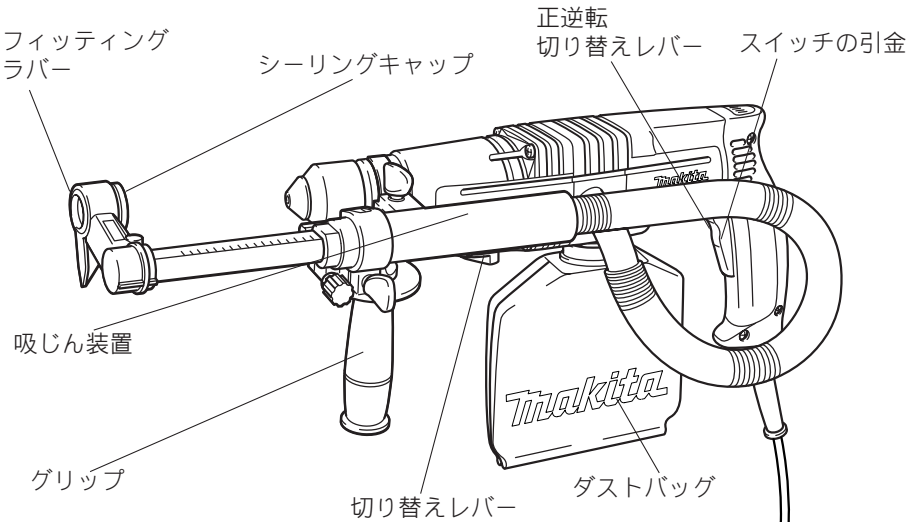
2.電源が離れていて、つなぎコードが必要なときは、機械を最高の能率で故障なくご使用していただくために十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。

使用できるコードの太さ（公称断面積）と最大長さの関係

コードの太さ（導体公称断面積）	コードの最大長さ
1.25mm^2	15m
2.00mm^2	30m

つなぎコードは本機のコードと同じような被ふくを施したコードを使用してください。

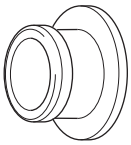
各部の名称および標準付属品



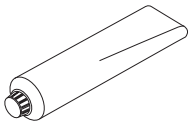
※吸じん装置、ダストバッグはコンクリート穴あけ専用です。
※フィッティングラバー、シーリングキャップは消耗品です。摩耗した場合は吸じん力が低下しますので交換してください。

標準付属品

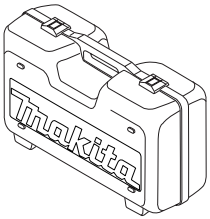
キャップ



ビット用グリス



・プラスチックケース



別販売品のご紹介

・**超硬ドリル**（SDSプラスビット）

錐径 (mm)	全長 (mm)	最大穿孔深度 (mm)
4.0	110	50
4.3		
4.5		
4.8		
5.0		
5.5		
6.0		
6.4		
6.5		
7.0		
7.5	160	100
8.0		
8.5		
9.0		
9.5		
10.0		
10.5		
11.0		
12.0	166	
12.5		
12.7		
13.0	160	
13.5		
14.0		
14.3	166	
14.5		
15.0	160	
16.0	166	
16.5		
17.0	200	130
17.5		
18.0		
19.0		
20.0		
21.0		
21.5		
22.0	250	200
23.0		
24.0		

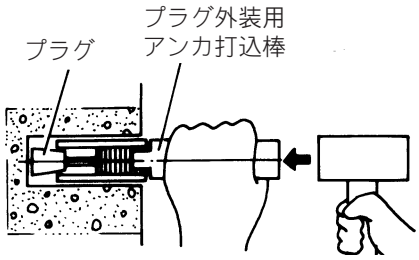
・**ホルダドライバ**

（アンカW $\frac{3}{8}$（3分）、W $\frac{1}{2}$（4分）打ち込み用あて工具）

・**プラグ外装用アンカ打込棒（手打用）**

アンカは市販品をお求めください。

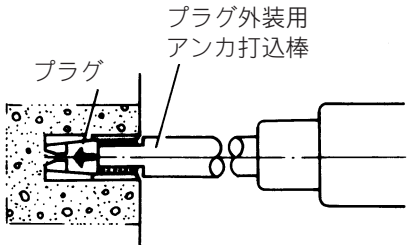
めねじ径	
W1/4(2分)	No.2
W5/16(2分半)	No.2.5



・**プラグ内装用アンカ打込棒（手打用）**

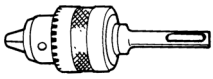
アンカは市販品をお求めください。

めねじ径	
W1/4(2分)	No.2
W5/16(2分半)	No.2.5
W3/8(3分)	No.3
W1/2(4分)	No.4



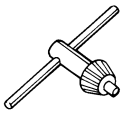
別販売品のご紹介

・ドリルチャックアッセンブリ
金属・木材への穴あけに
（各種キリ取り付け用）

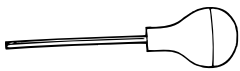


・ビット用グリス（100g）

・チャックキー

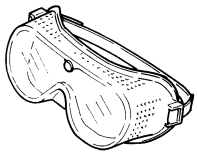


・スポイド



・ストッパポール

・セーフティゴーグル
（保護メガネ）



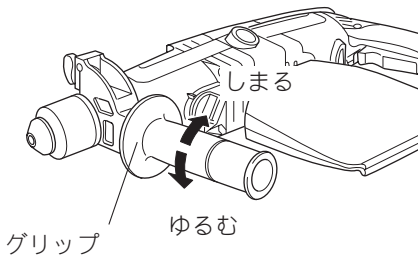
使い方

⚠警告

ビットの取り付け､取りはずしの際は､必ずスイッチを切りプラグを電源から抜いてください。
・プラグを電源につないだまま行うと､事故の原因になります。
グリップは必ず取り付け､本体を両手で確実に保持して作業してください。
・確実に保持していないと、けがの原因になります。

グリップについて

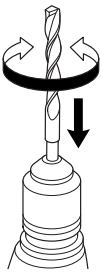
・グリップを左に回してゆるめて360度お望みの位置に回した後、グリップを右に回してしっかり固定してください。



ビットの取り付け・取りはずし方

取り付け方

・ビットのチャック部は常にきれいにし、付属のグリスを塗布してください。
・ビットを差し込んでください。ビットを回しながら位置を合わせ、奥まで差し込んでください。



・ビットを引っぱって抜けないことを確認してください。
ビットが奥まで差し込めない場合はチャックカバーを2～3回スライドさせてください。

取りはずし方

・チャックカバーをいっぱいまで引いて、ビットを引き抜いてください。

使い方

ビット用グリスについて

・ビットの丸溝部にビット用グリスを少量（0.5g～1g程度）塗ってください。

スイッチの操作

⚠警告

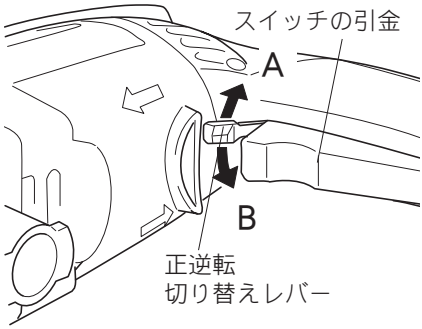
電源にプラグを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

・スイッチを入れたままプラグを差し込むと急に動きだし事故の原因になります。

・スイッチは引金を引くと入り、離すと切れます。
・スイッチは引金の引き加減によりお望みの回転数および打撃数が得られます。

正逆転切り替えレバーの操作

・正逆転切り替えレバーをA側に向けますとビットは右回転（正転）しB側の方向に向けますとビットは左回転（逆転）します。



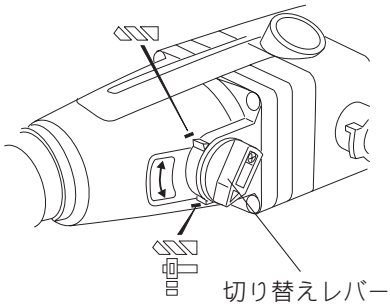
注

・ご使用前には、必ず回転方向を確認してください。
・正転・逆転の切り替えは、モータの回転が完全に停止した状態で行なってください。回転中に切り替えますと、故障の原因になります。
・正逆転切り替えレバーを中央にしたまま引金を強く引きますと、スイッチ故障の原因となります。

使い方

切り替えレバーの操作

・ の位置に切り替えレバーを合わせると回転のみ、 の位置に切り替えレバーを合わせると回転＋打撃の切り替えができますので作業に合わせてお選びください。



注

・切り替えレバーは必ずそれぞれのモードマークに確実に合わせてください。
切り替えレバーとモードマークがズレた位置で使用しますと故障の原因となります。

トルクリミッタについて

・ビットに所定のトルクがかかると、トルクリミッタが作動し、ビットにモータの回転が伝わらない構造になっています。

注

・トルクリミッタが作動したときは、すぐにスイッチを切ってください。
・ホールソー、コアビット、ダイヤモンドコアビットなど、ひっかかりやこじれの発生しやすいものはトルクリミッタが作動しやすいため、使用に適していません。

吸じん装置、ダストバッグの使い方（コンクリート穴あけ用）

・本機は吸じん装置、ダストバッグを取り付けて使用すると粉じんが飛散することなく、衛生的な作業が出来ます.

注

・吸じん装置、ダストバッグはコンクリート穴あけ専用です。
金属・木材には使用しないでください。

使い方

吸じん装置の取付け方

・サイドグリップのつまみねじを回してゆるめ取付け穴に吸じん装置の取付け軸を差し込み、ねじを締めて固定します。
・A、Bいずれの方向からでも差し込めます。
※サイドグリップの取付け角度によっては吸じん装置と本体があたり取り付けられない位置があります。

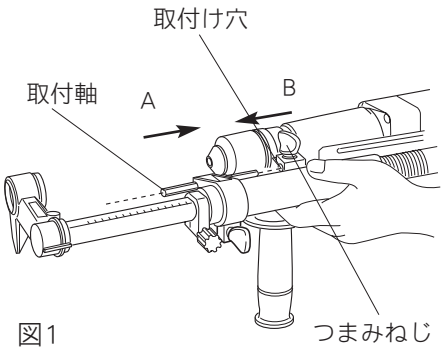


図1

・ホースを本体のホース取付け口の奥に突き当るまで強く差し込み、確実に固定します。

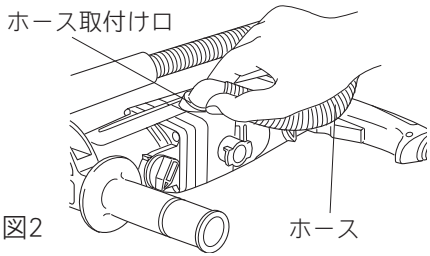
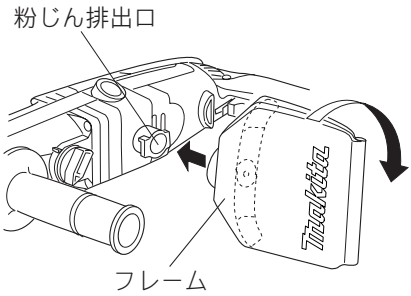


図2

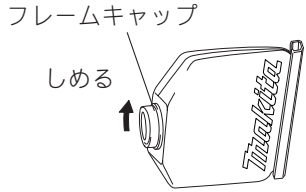
ダストバッグの取付け方

・本体の粉じん排出口にダストバッグを本体に対して直角の向きで差し込みます。
・ダストバッグのフレーム部分を持って右に回し固定します。



注

フレームキャップは時々点検し、ゆるみがあれば締め付けてください。



使い方

吸じん装置の位置調整

・吸じん装置のつまみねじをゆるめ（図1）ビットの先端を図2の様に吸じん装置の先端にあわせます。

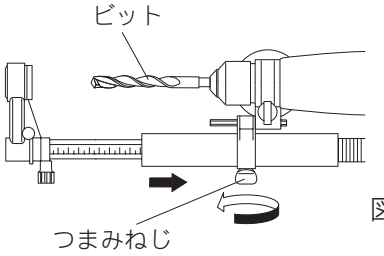


図1

・つまみねじを締め、固定します。

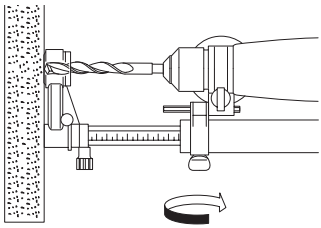
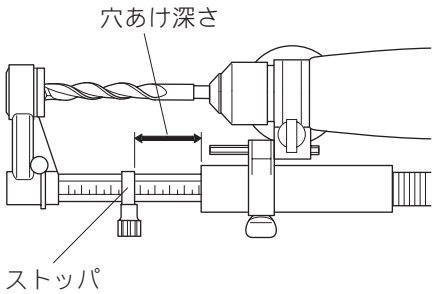


図2

穴あけ深さの調整

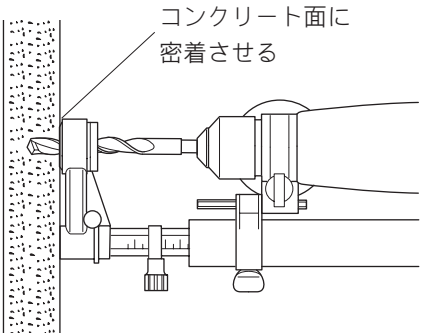
・ストッパのネジをゆるめ、ストッパを移動させ、穴あけ深さを目盛りであわせ固定します。



吸じん装置使用時の穴のあけ方

・穴あけ時は、吸じん装置の先端面がコンクリート面に密着するように本体を保持してください。

※コンクリート面に密着していないと吸じん効果が落ちます。



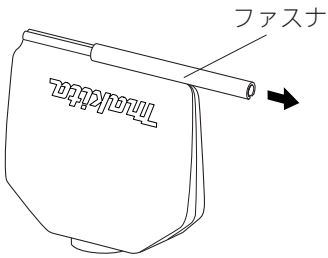
使い方

粉じんの除去

・ダストバッグを本体から取りはずし、ファスナを引き抜いて粉じんを捨て、清掃してください。

※ダストバッグに粉じんがたまりすぎますと、吸じん効果が落ちてしまいますので、粉じんは、こまめに捨ててください。

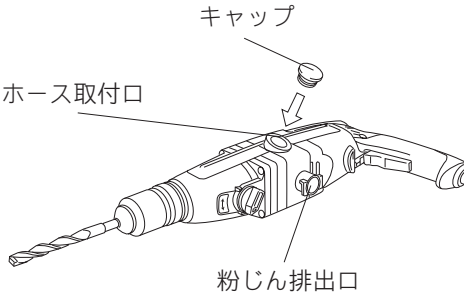
※水洗いは目づまり等の原因となりますので、行わないで下さい。



吸じん装置を使用しない場合

・本機は吸じん装置、ダストバッグを取り付けずに、普通のハンマドリルとして使えます。

・普通のハンマドリルとして使用する場合、ホース取付口に付属のキャップを差し込んでください。
粉じん排出口からの風が弱くなります。



穴あけ方法

⚠警告

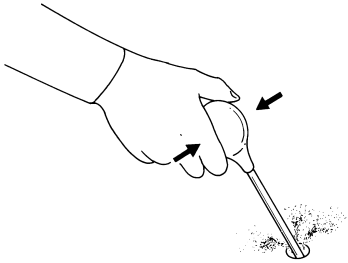
コンクリート壁の貫通時や鉄筋などに刀先が接触したときに、本機が反動で回ることがあります。
本機は、両手で確実に保持してください。
・確実に保持していないと、けがの原因になります。

・穴あけ箇所にビットの先端をあててからスイッチの引金を引いてください。
・機械が浮き上がらない程度に軽く押し付けて作業してください。
無理に押えつけても作業能率は上がりません。
・深い穴で粉塵がつまりやすいときは、ビットを回転させながら大きく前後させ粉塵を排出させてください。

別販売品の使い方

スポイド

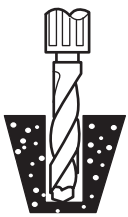
・穴あけ後、穴の中に残った粉塵を取り除くときに使用します。



アンカ打ち込み方法

・使用したいアンカに適した径の超硬ドリルを機械に取り付けて穴あけしてください。
・同じ深さの穴をいくつもあけるときは、吸じん装置の目盛りを合わせ、ストッパを固定して作業をすると便利です。

1



穴あけをします。

2

スポイドで粉塵を除去します。

3

アンカの先端にプラグを取り付け、ホルダドライバまたはアンカ打込棒をあてがいコンクリート内にハンマで打ち込みます。

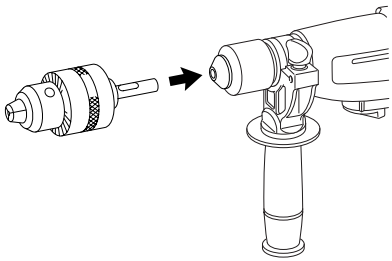
4

器材をとめるボルトをねじ込みます。

別販売品の使い方

木工・鉄工用ドリルとして使用する場合

・別販売品のドリルチャックアッセンブリが必要です。
取り付け・取りはずしは、12ページ「ビットの取り付け・取りはずし方」及び14ページ「切り替えレバーの操作」を参照してください。



・鉄工用キリは13mm、木工用キリは32mmまで使用できます。

注

・ドリルチャックアッセンブリをお使いになるときは、切り替えレバーを「回転のみ」に切り替えてください。
ドリルチャックアッセンブリを「回転＋打撃」で使いますと、ドリルチャックが破損します。また、逆転時にドリルチャックが脱落してしまいます。

保守・点検について

⚠警告

点検・整備の際には必ずスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。
・プラグを電源につないだまま行うと、感電や事故の原因になります。

ご修理の際は

・修理はご自分でなさらないで、必ずお買い求めのマキタ電動工具登録販売店または裏面掲載の最寄りのマキタ直営事業所にお申しつけください。

全国に拡がるアフターサービス網

お買い上げ商品のご相談は、最寄りのマキタ登録販売店もしくは、下記の当社営業所へお気軽にお尋ねください。

事業所名	電話番号
札幌支店	〈011〉(783) 8141
札幌営業所	〈011〉(783) 8141
旭川営業所	〈0166〉(29) 0960
釧路営業所	〈0154〉(37) 4849
函館営業所	〈0138〉(49) 9273
苫小牧営業所	〈0144〉(68) 2100
帯広営業所	〈0155〉(36) 3833
北見営業所	〈0157〉(26) 9011
仙台支店	〈022〉(284) 3201
仙台営業所	〈022〉(284) 3201
古川営業所	〈0229〉(24) 0698
青森営業所	〈017〉(764) 4466
八戸営業所	〈0178〉(43) 3321
盛岡営業所	〈019〉(635) 6221
水沢営業所	〈0197〉(22) 5101
郡山営業所	〈024〉(932) 0218
いわき営業所	〈0246〉(23) 6061
新潟支店	〈025〉(247) 5356
新潟営業所	〈025〉(247) 5356
長岡営業所	〈0258〉(30) 5530
山形営業所	〈023〉(643) 5225
酒田営業所	〈0234〉(26) 3551
秋田営業所	〈018〉(863) 5205
宇都宮支店	〈028〉(634) 5295
宇都宮営業所	〈028〉(634) 5295
小山営業所	〈0285〉(25) 5559
水戸営業所	〈029〉(248) 2033
土浦営業所	〈029〉(821) 6086
関東物流センター	〈048〉(771) 3451
埼玉支店	〈048〉(771) 3462
さいたま営業所	〈048〉(777) 4801
川越営業所	〈049〉(222) 2512
熊谷営業所	〈048〉(521) 4647
越谷営業所	〈0489〉(76) 6155
前橋営業所	〈027〉(232) 5575
高崎営業所	〈027〉(365) 3688
両毛営業所	〈0276〉(46) 7661
千葉支店	〈043〉(231) 5521
千葉営業所	〈043〉(231) 5521
市川営業所	〈047〉(328) 1554
成田営業所	〈0478〉(73) 8101
木更津営業所	〈0438〉(23) 2908
柏営業所	〈04〉(7175) 0411
東京支店	〈03〉(3816) 1141
東京営業所	〈03〉(3816) 1141
中野営業所	〈03〉(3337) 8431

事業所名	電話番号
足立営業所	〈03〉(3899) 5855
大田営業所	〈03〉(3763) 7553
江戸川営業所	〈03〉(3653) 5171
多摩営業所	〈042〉(384) 8411
立川営業所	〈042〉(542) 1201
横浜支店	〈045〉(472) 4711
横浜営業所	〈045〉(472) 4711
川崎営業所	〈044〉(811) 6167
平塚営業所	〈0463〉(54) 3914
相模原営業所	〈042〉(757) 2501
湘南営業所	〈0466〉(87) 4001
静岡支店	〈054〉(281) 1555
静岡営業所	〈054〉(281) 1555
沼津営業所	〈055〉(923) 7811
浜松営業所	〈053〉(464) 3016
甲府営業所	〈055〉(276) 7212
金沢支店	〈076〉(249) 5701
金沢営業所	〈076〉(249) 5701
七尾営業所	〈0767〉(52) 3533
富山営業所	〈076〉(451) 6260
高岡営業所	〈0766〉(21) 3177
福井営業所	〈0776〉(35) 1911
岐阜支店	〈058〉(274) 1315
岐阜営業所	〈058〉(274) 1315
多治見営業所	〈0572〉(22) 4921
松本営業所	〈0263〉(25) 4696
長野営業所	〈026〉(225) 1022
上田営業所	〈0268〉(22) 6362
飯田営業所	〈0265〉(24) 1636
名古屋支店	〈052〉(571) 6451
名古屋営業所	〈052〉(571) 6451
一宮営業所	〈0586〉(75) 5382
東名古屋営業所	〈0561〉(73) 0072
知多営業所	〈0569〉(48) 8470
岡崎営業所	〈0564〉(22) 2443
豊橋営業所	〈0532〉(46) 9117
四日市営業所	〈0593〉(51) 0727
津営業所	〈059〉(232) 2446
伊勢営業所	〈0596〉(36) 3210
京都支店	〈075〉(621) 1135
京都営業所	〈075〉(621) 1135
福知山営業所	〈0773〉(23) 7733
大津営業所	〈077〉(545) 5594
彦根営業所	〈0749〉(22) 6184
大阪支店	〈06〉(6351) 8771
大阪営業所	〈06〉(6351) 8771

事業所名	電話番号
東大阪営業所	〈06〉(6746) 7531
関西物流センター	〈0725〉(46) 6715
南大阪営業所	〈0725〉(46) 6611
奈良営業所	〈0742〉(61) 6484
橿原営業所	〈0744〉(22) 2061
和歌山営業所	〈073〉(471) 4585
田辺営業所	〈0739〉(25) 1027
沖縄営業所	〈098〉(874) 1222
兵庫支店	〈0794〉(82) 7411
三木営業所	〈0794〉(82) 7411
尼崎営業所	〈06〉(6437) 3660
神戸営業所	〈078〉(672) 6121
姫路営業所	〈0792〉(81) 0204
広島支店	〈082〉(293) 2231
広島営業所	〈082〉(293) 2231
福山営業所	〈084〉(923) 0960
三原営業所	〈0848〉(64) 4850
岡山営業所	〈086〉(243) 4723
宇部営業所	〈0836〉(31) 4345
徳山営業所	〈0834〉(21) 5583
鳥取営業所	〈0857〉(28) 5761
松江営業所	〈0852〉(21) 0538
高松支店	〈087〉(841) 2201
高松営業所	〈087〉(841) 2201
徳島営業所	〈088〉(626) 0555
松山営業所	〈089〉(951) 7666
宇和島営業所	〈0895〉(22) 3785
高知営業所	〈088〉(884) 7811
福岡支店	〈092〉(411) 9201
福岡営業所	〈092〉(411) 9201
北九州営業所	〈093〉(551) 3481
飯塚営業所	〈0948〉(26) 3361
久留米営業所	〈0942〉(43) 2441
佐賀営業所	〈0952〉(30) 6603
長崎営業所	〈095〉(882) 6112
佐世保営業所	〈0956〉(33) 4991
熊本支店	〈096〉(389) 4300
熊本営業所	〈096〉(389) 4300
八代営業所	〈0965〉(43) 1000
大分営業所	〈097〉(567) 3320
宮崎営業所	〈0985〉(26) 1236
鹿児島営業所	〈099〉(267) 5234
沖縄営業所	大阪支店の欄をご覧ください。

881951A4

株式会社マキタ
愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711 （代表）